

平成31年度 学校経営方針

京都市立修学院第二小学校

京都市の目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ 次代と自らの未来を創造する子ども」

～歴史に学び、今を見つめ、持続可能な社会の担い手として、多様な人々と協働しながら、
豊かな人生を切り拓き、未来社会を創造する～

<修学院中学校ブロック 目指す子ども像>

規律正しく、たくましく生き、何事にも積極的に取り組む児童・生徒の育成

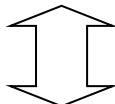
修学院中学校ブロック「目指す子ども像」

★正しい市民感覚を持った市民を育てる。

○将来の展望を持ち、「自分らしく生きる」ことのできる子ども（主体性）

○人や自然を大切にし、他と「共に生きる」ことのできる子ども（社会性）

（平成30年度「修学院中学校ブロックの小中一貫教育構想図」より）



学校教育目標

自分に自信をもち、仲間とともに高めあい、

自分の将来を切り拓いていくことのできる子どもの育成

＜今年度の取組の重点＞

- 1 子ども一人ひとりが主体的に学ぶ力を伸ばす。
- 2 対話的な学びを通して、コミュニケーション能力を育成する。
- 3 他者への思いやりや寛容な心、自分から生活や地域、社会をよりよくするために時と場合に応じた正しい判断ができる力を育成する。
- 4 自分の役割や責任を果たしたり、協力して解決したりする力を伸ばし、自尊感情や自己有用感を高める。
- 5 小中一貫教育を更に推進する。

＜めざす子ども像＞

- なりたい自分に向けて挑戦する子
- 進んで考え、表現する子
- 仲間を大切にする子
- きまりを守り、楽しく活動する子
- 健康で安全な生活ができる子

育てたい力

- ① 自己肯定感や自己有用感を高め、なりたい自分に近づこうと根気強く取り組む力
- ② 自分の思いや考えを自分の言葉で伝え、相手の話もしっかり聞くことができる力
- ③ 自他の違いや相手の良さを認め、思いやりを大切にして行動する力
- ④ きまりや約束の意味を考え、正しく判断して行動する力
- ⑤ かけがえのない自他のいのちを大切にする力
- ⑥ 自分で健康的で基本的な生活を管理できる力

(起きる時刻・寝る時刻・登校時刻・時間の管理等)

＜めざす教職員像＞

- お互いの人権を尊重し、互いに支え合う教職員（尊敬と信頼）
- 自ら指導力や人権感覚について資質向上を図るために研究・研修を進める教職員
- 子どもの変化や困りに気づく鋭い感覚を持った教職員
- 組織の一員としての自覚を持ち、積極的に学校運営に参画する意識を持った教職員
- 子どもの命を守りきる教職員

＜めざす学校像＞

- 保護者・地域に信頼され、子どものために共渾できる学校
- 誰もが認められ、安心して生活できる学校
- 子どもにとって信頼できる、大好きな教職員がいる学校
- 常に教育環境の整備を点検し、改善していく学校